

子どもの健やかな成長を願う事業(みちびき・はぐくみ)

「東村山子ども演劇プロジェクト 10th Year ～ コミュニティアート」事業

演劇をツールとして子どもたちの成長を育むとともに 多世代の人をつなぐ地域活動

地域の子どもの自己表現の場として長く根付いていくことを願い、東京都東村山市の「子どもと文化のNPO 東村山子ども劇場」が始めた「子ども演劇プロジェクト」が10周年を迎えた。単なる舞台発表ではなく、子どもたちが仲間と共に創り上げる体験の場であり、演劇を通じて地域の人をつなぐことに主眼を置いて取り組んでいる。



総勢39名がステージ上がった子ども演劇10周年記念公演



子ども演劇ワークショップの様子

ワークショップを通して子どもたちの 言葉を紡ぐ台本のない創作演劇

子ども演劇プロジェクトは、地域の大人と表現活動の専門家が子どもたちをサポートし、共に創り上げていく創作演劇活動である。毎年、4年生以上の小中学生が参加する子ども演劇をはじめ、子どもたちの成長段階に応じた表現プログラムを通年で実施している。

子ども演劇の大きな特徴は、台本がないこと。子ども一人ひとりの個性や発想を生かすための手法として、決まった台本ではなく、1つのテーマを投げかけ、ワークショップを重ねて子どもたちの言葉やアイデアを引き出していく。プロジェクトの実行委員長を務める山岸一繁さんは、創作前のこのプロセスがとても重要だと話す。

「子どもたちが自分の言葉で表現するための環境づくり

に毎回長い時間をかけています。一定の課題を与え、その課題への取り組み方は子どもたち自身が自由に選べる。また、子どもたちが悩み、立ち止まる瞬間が必ずあるので、それを上手くキャッチしてタイムリーにサポートすることを心掛けています。そうして子どもたちが心を開いて自由に言葉を発するようになったところで、創作活動に入ります。グループごとに同じテーマでそれぞれ仲間と一緒にオムニバス形式で物語を創っていきます」

こうしたワークショップを通して、子どもたちは大きく変わっていくという。実際に参加した子どもたちからは、「自分の考えをきちんと言えるようになった」、「自分に対して前向きになれた」、「いろんなことを想像して考えるようになった」、「心が強くなった」、「人との関係性を考えられるようになった」という声が寄せられている。

小中学生に加えOB・OGも参加した 子ども演劇10周年記念公演

子ども演劇プロジェクト10年目を迎えた2016年度は、子ども演劇10周年記念公演を大目標として、多世代で交流し合える表現プログラムを実施した。幼児や小学生を対象にした「変身ファッションショー」(10月2～30日、全6回のワークショップ)は、子どもたちの「なってみよう、やってみよう」という願いを専門家や地域の大人と一緒に膨らませ、物語仕立てで構成していく表現活動。最終日、アート活動を通じた地域交流の場として毎年主催している「天王森de劇場まつり」(10月30日、天王森公園)のステージで発表会を行った。1,000人近くが集まるというこの地域イベントでは、大道芸のワークショップも行われ、子どもも大人も一緒に楽しんだ。

そしてメモリアルな年の締めくくりとして、子ども演劇プロ

ジェクト10周年公演を2017年3月18、19日に東村山市富士見公民館ホールで開催した。今年度は小中学生26名に加え、かつて子ども演劇に参加したOB・OG13名も参加。10周年にちなんで「いちまる」をテーマに、昨年12月より30回におよぶワークショップを重ね、5つのオムニバス作品が誕生した。毎年この子ども演劇の公演を楽しみにしている人も多く、3回行われた公演は150席がすべて満席となった。記念公演を無事に終えて、山岸さんは活動10年の節目を次のように語った。

「かつて子ども演劇に参加した10歳の子が20歳になって再びスタッフとして活動に戻ってくる、その最初のきっかけとなるのが10年。この先、子ども演劇ネイティブが30代、40代と各世代で増えていけば、この文化活動は確実に地域に根付いていくと思います。10周年は次なる10年に向けての出発点だととらえています」



子どもたちの夢が叶った「変身ファッションショー」



10周年記念公演を告知するチラシ

助成団体: 特定非営利活動法人 子どもと文化のNPO東村山子ども劇場 <http://www.hmy-kogeki.com>



文化活動を通して地域の大人と専門家が子どもたちの成長を応援

活動10周年にあたり、助成をいただいたことを大変うれしく思います。子どもたちのより豊かで良質な表現活動をサポートするために、講師として専門家の参加を増やすことができました。地域の子どもの成長を育む場を構築することは、学校とも家庭とも異なる地域社会の役割であると考えます。これからもご支援いただけるとありがたいです。

NPO法人 子どもと文化のNPO東村山子ども劇場
副理事長 山岸一繁さん